

二級と木造の両方を申請される方は各々申請書を作成すること。

第1号様式

二級

~~木造~~

建築士免許申請書（第1面）

私は、 木造 二級 建築士の免許を受けたいので、本籍地の記載のある住民票の写しを添え、申請します。				
私は、下記事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。				
令和 ○ 年 ○ 月 ○ ○ 日				
京 都 府 知 事				
京都府指定登録機関 様				
一般社団法人京都府建築士会会長 氏名 建築 太郎				
ふ り が な 氏 名	けんちく たろう 建築 太郎	生年 月 日	S H ○ 年 ○ 月 ○ 日生	写真 1 縦4.5cm、横3.5cmの写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入しての りて貼付けてください。 2 貼り付けた写真は免許証に転写されます。
本 籍 地	○ ○ (都・道・府 県)	性 別	男 ☒ 女 ☐	
住 所	〒 ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ 京都府○市○町○丁目○番○○マンション201号室 電話 ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○			
試 験	建築士試験に合格した年 平成30年 合格通知書日付 平成30年12月6日		受 験 番 号 (合 格 番 号) 12345 号	
登録申請区分		1 学歴 ☐ 2 学歴+実務 ☐ 3 実務 ☐ 4 建築士法第4条第5項 ☐		
1 学歴により申請する場合のみ記入	学校名	学部名・学科名	入学・卒業(修了)年月	
			年 月 入学 年 月 卒業(修了)	
			年 月 入学 年 月 卒業(修了)	
2 学歴+実務により申請する場合のみ記入	令和元年以前の試験の 合格者は記入不要		期間の 箇月	
			年 月 卒業(修了)	
3 実務により申請する場合のみ記入	建築実務経験期間の合計		年 箇月	
4 建築士法第4条第5項の規定により申請する場合のみ記入	免許名称	免許者名	免許の年月日	資格認定書の年月日
			年 月 日	年 月 日

第2面へ続く

欠 格 事 由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくな った日	ある□	ない ☒			
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して 罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくな った日	ある□	ない ☒			
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級 建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがあ りますか。 あるときは、その日	ある□	ない ☒			
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、そ の停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建 築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがあり ますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	ある□	ない ☒			
	5 精神の機能の障害により二級建築士又は木造建築士の業務を適正 に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うこと ができない状態ですか。	年 月 日から 年 月 日まで はい□	いいえ ☒			
※確認					※合格通知書 照 合 欄	
※登録 番号				※登 録 年月日	年 月 日	※受付 番号

- 注 1 「二級
木造」の箇所は、不要の文字を抹消すること。
- 2 数字は算用数字を用い、※印のある欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けること。
- 3 氏名及び住所は、住民票に記載されているとおり正確に記入すること。
- 4 試験の受験番号（合格番号）は、合格年が令和元年以前の場合は合格番号を
令和2年以降の場合は受験番号を記入すること。

以下の事項は、円滑な登録実施のため、記入について協力ください。（□の中にレ印）

告示等に基づく学歴等区分 (登録申請時)	☐ 大学・短大・高専卒 40単位	☐ 職能大(短大)卒 40単位	☐ 大学・短大・高専・ 職能大等卒 30単位	☐ 大学・短大・高専・ 職能大等卒 20単位
	50	51	52	53
	☐ 立			
	☐ 57			
	☐ 61			
☐ 職訓校(高校卒) 1年以上20単位	☐ 職訓校(中学卒) 3年以上20単位	☐ 実務経験 (7年以上)	☐ その他 (建築設備士等)	
62	63	64	65	

令和元年以前の試験の
合格者は記入不要